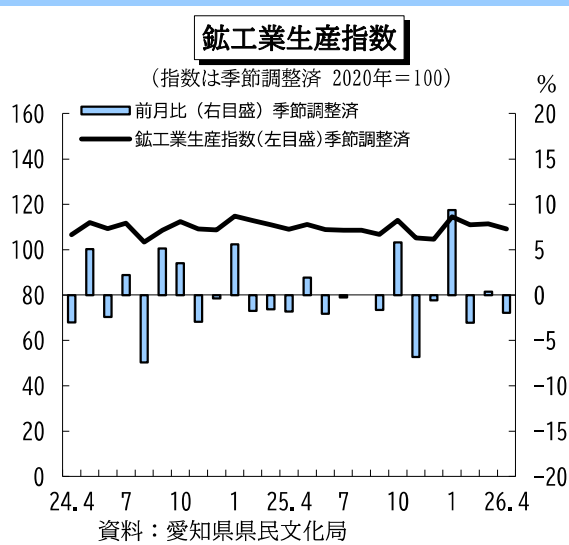


あいち経済の動き（月報）

（2026年4月分）

生産：鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比2.0%の低下



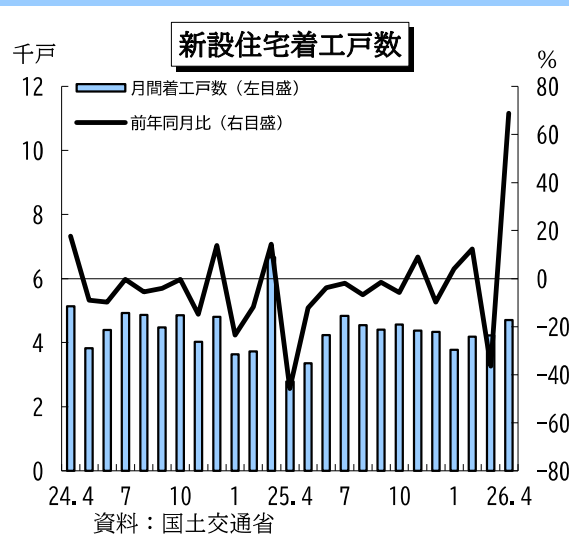
2026年2月	3月	4月
→	→	→

主な指標の動き

鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比で、鉄鋼・非鉄金属工業が7.6%低下するなど、全体で2.0%の低下となりました。

また、鉱工業生産指数（原指数）は、前年同月比で、鉄鋼・非鉄金属工業が6.5%上昇するなど、全体では0.1%の上昇となりました。

投資（住宅建設）：新設住宅の月間着工戸数は、前年同月比68.8%の増加



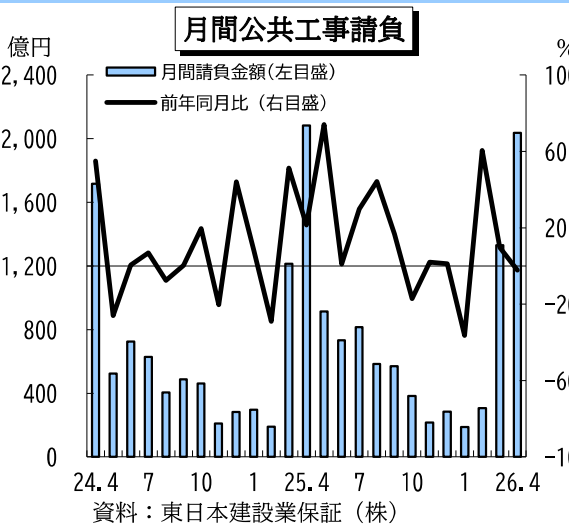
2026年2月	3月	4月
↗	↘	↗

主な指標の動き

新設住宅の月間着工戸数の前年同月比は、68.8%増となり、2か月ぶりに増加となりました。

主な内訳は、貸家が134.4%、持家が63.6%、分譲住宅が29.4%の増加となっています。

投資（公共工事）：公共工事の月間請負金額は、前年同月比2.3%の減少



2026年2月	3月	4月
↗	↗	→

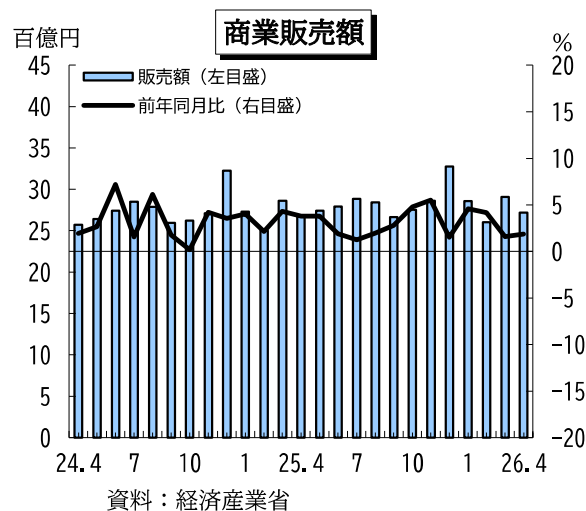
主な指標の動き

公共工事の月間請負金額の前年同月比は、2.3%減となり、3か月ぶりに減少となりました。

月間請負件数の前年同月比は、11.7%増となり、3か月連続で増加となりました。

※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

個人消費：商業販売額は、前年同月比1.9%の増加



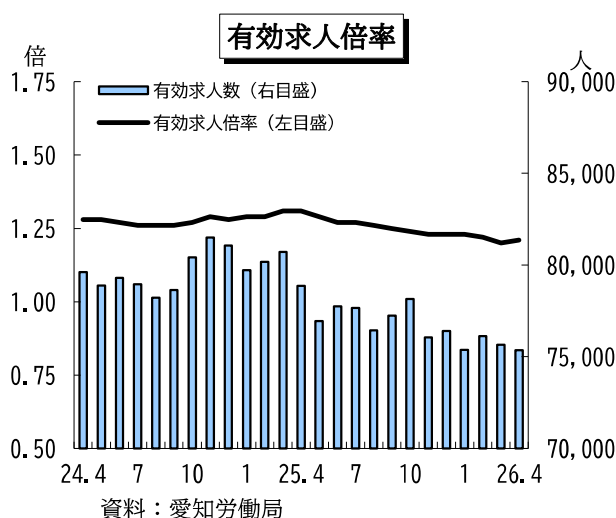
2026年2月	3月	4月
→	→	→

主な指標の動き

スーパーなどの商業販売額の前年同月比は、1.9%増となり、56か月連続で増加となりました。

主な内訳は、家電大型専門店が8.6%、ドラッグストアが7.4%増加し、百貨店が4.1%の減少となっています。

雇用：有効求人倍率は、1.21倍



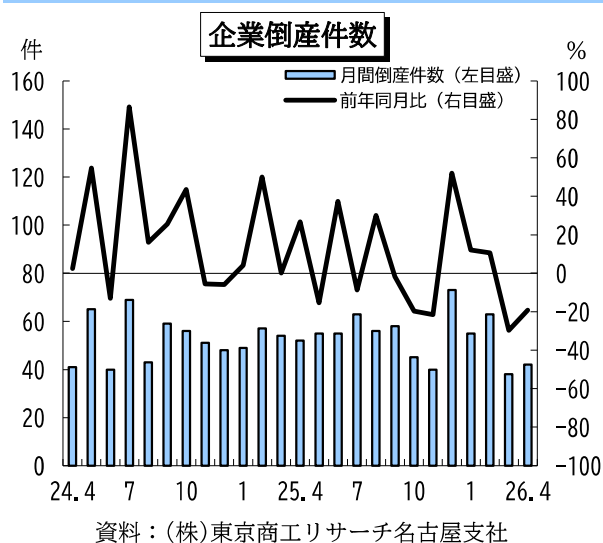
2026年2月	3月	4月
→	→	→

主な指標の動き

有効求人倍率は、1.21倍と13か月ぶりに上昇となりました。

有効求人数の前年同月比は、4.4%減となり、23か月連続で減少となりました。

企業（倒産）：月間倒産件数は、前年同月比19.2%の減少



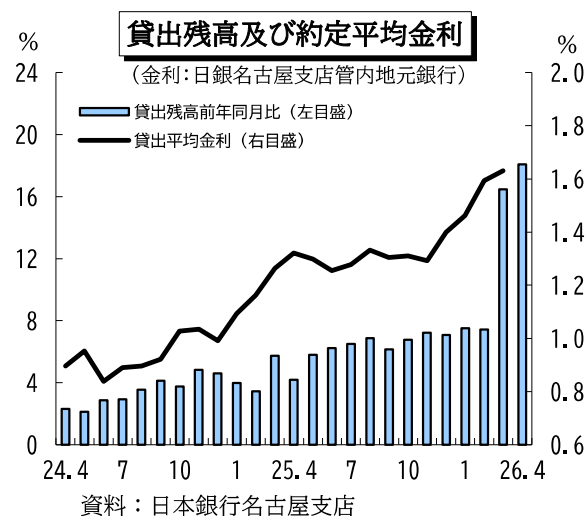
2026年2月	3月	4月
↘	↗	↗

主な指標の動き

企業の月間倒産件数は42件となりました。また、前年同月比では19.2%減となり、2か月連続で減少となりました。

業種別にみると、倒産件数の多い順に、建設業が12件、サービス業他が11件、製造業が7件、卸売業が5件、小売業が4件、不動産業、運輸業、情報通信業が各1件となっています。

企業（金融）：貸出残高は、前年同月比18.1%の増加



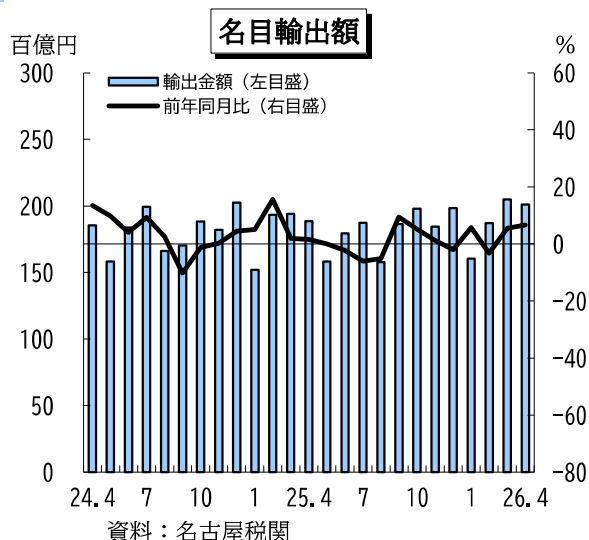
2026年2月	3月	4月
↗	↗	↗

主な指標の動き

貸出残高の前年同月比は、18.1%増となり、47か月連続で増加となりました。

※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。

貿易（輸出）：名目輸出額は、前年同月比6.7%の増加



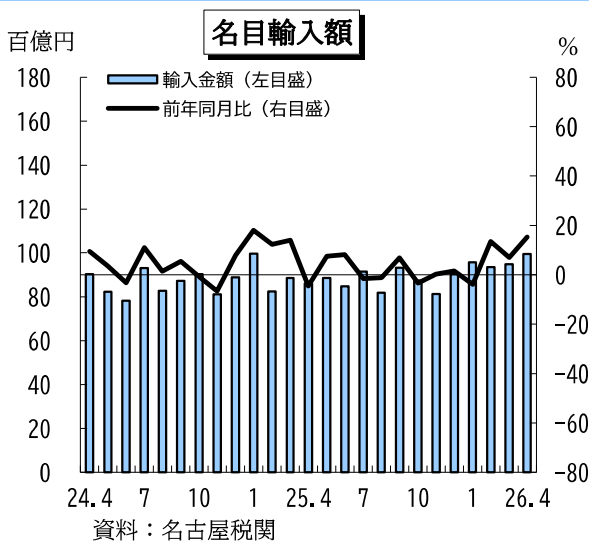
2026年2月	3月	4月
↘	↗	↗

主な指標の動き

名目輸出額の前年同月比は、6.7%増となり、2か月連続で増加となりました。

内訳を地域別にみると、EU向けの輸出が21.8%、北米向けが13.1%、アジア向けが10.4%の増加となりました。

貿易（輸入）：名目輸入額は、前年同月比15.4%の増加



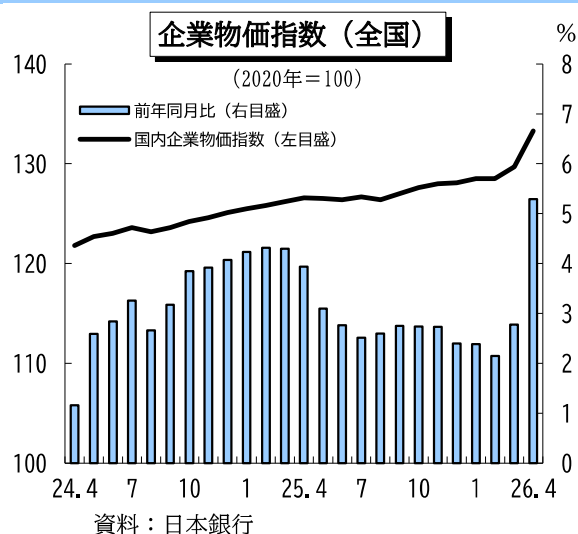
2026年2月	3月	4月
↗	↗	↗

主な指標の動き

名目輸入額の前年同月比は、15.4%増となり、3か月連続で増加となりました。

内訳を地域別にみると、北米からの輸入が35.8%、アジアからは17.5%、EUからは9.3%の増加となりました。

物価（企業物価）：企業物価指数は、前年同月比5.3%の上昇



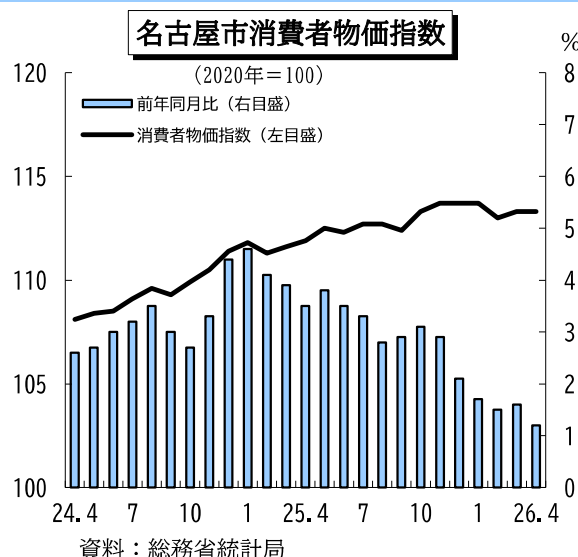
2026年2月	3月	4月
↗	↗	↗

主な指標の動き

国内品の企業物価指数（2020年＝100）は、133.3となりました。また、前年同月比は5.3%上昇し、62か月連続の上昇となりました。

前月比では2.8%の上昇となりました。

物価（消費者物価）：名古屋市消費者物価指数は、前年同月比1.2%の上昇



2026年2月	3月	4月
→	→	→

主な指標の動き

名古屋市消費者物価指数（総合）（2020年＝100）は、113.3となりました。また、前年同月比は1.2%上昇し、54か月連続の上昇となりました。

前月比では同水準となりました。

（注）矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

経済指標の矢印判定の推移

	2025年 11月	12月	2026年 1月	2月	3月	4月
生産						
投資(住宅建設)						
投資(公共工事)						
個人消費						
雇用						
企業(倒産)						
企業(金融)						
貿易(輸出)						
貿易(輸入)						
物価(企業物価)						
物価(消費者物価)						
	6	3	6	5	6	6
	2	2	2	4	4	5
	1	3	3	2	1	0
	2	3	0	0	0	0

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

		使用データ	矢印判定基準
生 産		愛知県民文化局統計課「愛知県鉱工業指数」／生産指数（鉱工業）	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
投 資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工戸数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
個 人 消 費		経済産業省「商業動態統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」／商業販売額合計	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
雇 用		愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑：有効求人倍率1超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1未満かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外
企 業	倒 産	㈱東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同比の対3か月前比プラス →：上記以外
	金 融	日本銀行名古屋支店「都道府県別預金、現金、貸出金（国内銀行）」／貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
貿 易	輸 出	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	輸 入	同 上／名目輸入額	同 上
物 価	企 業 物 価	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
	消 費 者 物 価	総務省統計局「消費者物価指数」／名古屋市（総合）	同 上
区 分		上 昇 	横 ば い  下 降 

（注）1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↗”を、下降の場合は“↘”を表示する。